乳腺超音波検査　オプション検査追加のお知らせ

　この度、新たにエポックに乳腺超音波検査装置を導入いたしました。令和6年10月より乳腺エコー検査をオプション検査として追加しております。

　今までエポックでは外来検査との兼ね合いにより、限られた方しか乳腺エコー検査を受けていただけませんでしたが、今後はエポックを受診いただく全ての方に、オプション検査として自由に選択いただけるようになっております。

　20代30代の方の乳がん検診は、マンモグラフィより超音波検査の方が適しています。またマンモグラフィで『高濃度乳腺』と言われる方も同様に、超音波検査が推奨されます。
　血縁の方に乳がんがある方には、より多方面から乳がん検診を行うことが望ましいため、どちらかのみの検査ではなく、年度によってマンモグラフィと乳腺超音波検査を入れ替えながら、受けていただくことを今後はお勧めさせていただきます。

　1日に検査できる人数には限りがございますので、お電話にてお問い合わせをいただきますよう、お願い致します。

松阪中央総合病院
健康管理センターエポック

℡0598－21－8248

□ 検診センター「エポック」でも新たな乳腺超音波装置を導入し、オプション検査が可能

乳房用超音波画像診断装置
Invenia　ABUS

3850円（税込）

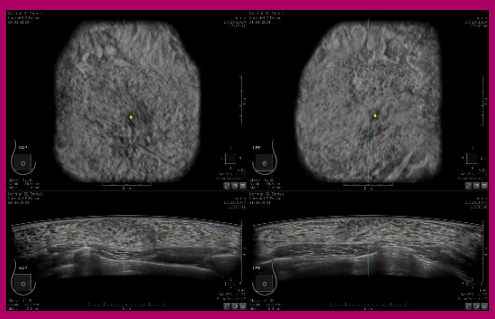
乳房用超音波画像装置とは？

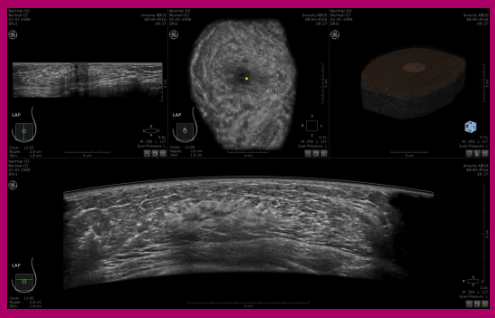
約15cm幅の超音波探触子(プローブ)が
乳房の上を機械的に動いて乳房全体の
画像データを収集します。
画像収集後、専用のPCに撮影したデータを
転送し、読影を行います。

乳房全体の画像を5年間保存します。

超音波画像診断装置の検査とは？

- 音の性質(透過と反射)を利用して生体内を断層像として描出する検査です。
- 無侵襲であり、被曝がありません。
- 超音波の透過を良くするため、専用のローションを塗って探触子(プローブ)を乳房にあてて検査します。
- 通常は左右それぞれ約3回ずつ撮影し、合計6回撮影します。
  検査時間は15分位です。





松阪中央総合病院　健康管理センターエポック

□ 検診センター「エポック」でも新たな乳腺超音波装置を導入し、
　オプション検査が可能